

2. 外構計画

新総合体育館の外構部分は、既存の各務原スポーツ広場公園と一体となった総合運動防災公園として、平常時には体育館利用者の利便性を確保することはもとより、体育館利用者以外の利用も考慮した整備を行うものとします。

災害時には、防災活動拠点、避難場所、物資拠点といった複数の機能に配慮したゾーニングや動線計画、施設配置を考慮します。

(1) 基本計画方針

- 体育館をはじめとする新規整備施設は、既存の各務原スポーツ広場公園及び南側道路沿いの駐車場と一体的に配置し、全体として総合運動防災公園として機能させる方針とします。
- 新規に整備する主な機能としては、体育館を中心に、センタープラザゾーン、芝生広場・遊戯施設ゾーンとし、これらの利用者に対応した駐車ゾーンを確保します。
- 計画対象地の立地特性から、車によるアクセスが主体となることが想定され、西側至近に位置する主要地方道 江南関線及び、南側至近に位置する国道 21 号からのアプローチに対応し、計画区域北側の東西道路及び、区域東側の南北道路をメインアプローチとし、それぞれ駐車スペースへと導入します。
- 計画区域北側の東西道路と体育館の間にも駐車スペースを確保し、直接的に車が寄せられる北側沿道エリアには、シャトルバス発着機能を合わせ持つ駐車スペースと、コンビニやカフェ等の誘致スペースを配置します。
- 計画対象地内における水路は暗渠化、市道は廃止（付け替え）を基本とし、土地の一体利用を図ります。

(2) 動線計画

1) 車動線

- 主要地方道 江南関線からのアプローチに対応して、計画区域北側の東西道路から導入路を通じて体育館の北側及び西側へ導入を図るとともに、計画敷地東側の南北道路から芝生広場北側への導入を図ります。
- 敷地北側道路よりアクセスする沿道駐車スペースは、イベント開催時のシャトルバス発着場としても活用します。

2) 歩行者動線

- 本計画地においては西・北・東側に配置される各駐車スペースから、公園の中心施設である体育館入り口、及び公園の中心であるセンタープラザゾーンに導く動線を確保します。
- 敷地西側の駐車場からは、体育館北側に東西方向に設定するアプローチ動線であるセンタープロムナードへと導き、北側駐車場からは中央部および東側に歩行者動線を設定し、同様にセンタープロムナードへと導入します。また、思いやり駐車場から体育館へはシェルターを併設し、雨天時の利便性を確保します。

- ・北東側駐車場からは、芝生広場ゾーン北側からセンタープラザゾーンへと導きます。
- ・同様に計画敷地東側の歩道付き道路からの徒歩及び自転車によるアクセスに対応してエントランスを設定し、センタープラザゾーンへ動線を設定します。

3) 自転車動線

- ・車以外のアクセス手段として相当量の自転車利用が考えられるため、計画区域北側の東西道路から体育館北側の駐輪スペースに導入を図るとともに、計画敷地東側の南北道路から体育館東側の駐輪スペースに導入を図ります。

4) 園内周回動線

- ・西側駐車場部を除く敷地外周部に、ジョギング・ウォーキングに利用できる1周約1,000mの公園周回園路を設定します。

(3) 空間構成計画

1) センタープロムナード

- ・西側のエントランススペースからセンタープラザゾーンまでをつなぐ空間は、隣接する体育館と一体的な「道広場」的なプロムナード空間となるよう修景を図ります。
- ・シンボリックな公園のメインストリートとしての景観形成を図るとともに、暗渠化した既存水路の位置にカナルを設置し、体育館利用者には憩いの空間として機能させていきます。

2) センタープラザゾーン

- ・センタープロムナードの焦点となる公園の中心空間・シンボル広場として演出し、公園利用者のメインアクセスとなる北東側駐車場から芝生・遊戯ゾーン、体育館までを一体的につなぐ広場空間を確保します。
- ・センタープロムナードからセンタープラザゾーンには、東西方向に山の前水路が通過しており、暗渠化により舗装広場空間として活用します。
- ・エントランスやロビーを含む体育館の北東部一帯を、センタープラザゾーンと一体的な交流広場空間として活用します。
- ・イベント時等にはキッチンカーの入るスペースや、マルシェ等を開催するスペースとしても活用します。

3) 芝生広場ゾーン・遊戯施設ゾーン

- ・体育館利用競技者のウォームアップスペース、多目的な運動・レクリエーションスペースとして大芝生広場を配置します。
- ・芝生広場には、遊戯施設ゾーンとして、インクルーシブ遊具、幼児用遊具、健康遊具を配置します。
- ・体育館の北東角部に位置するキッズルームとつながりを意識した配置とします。

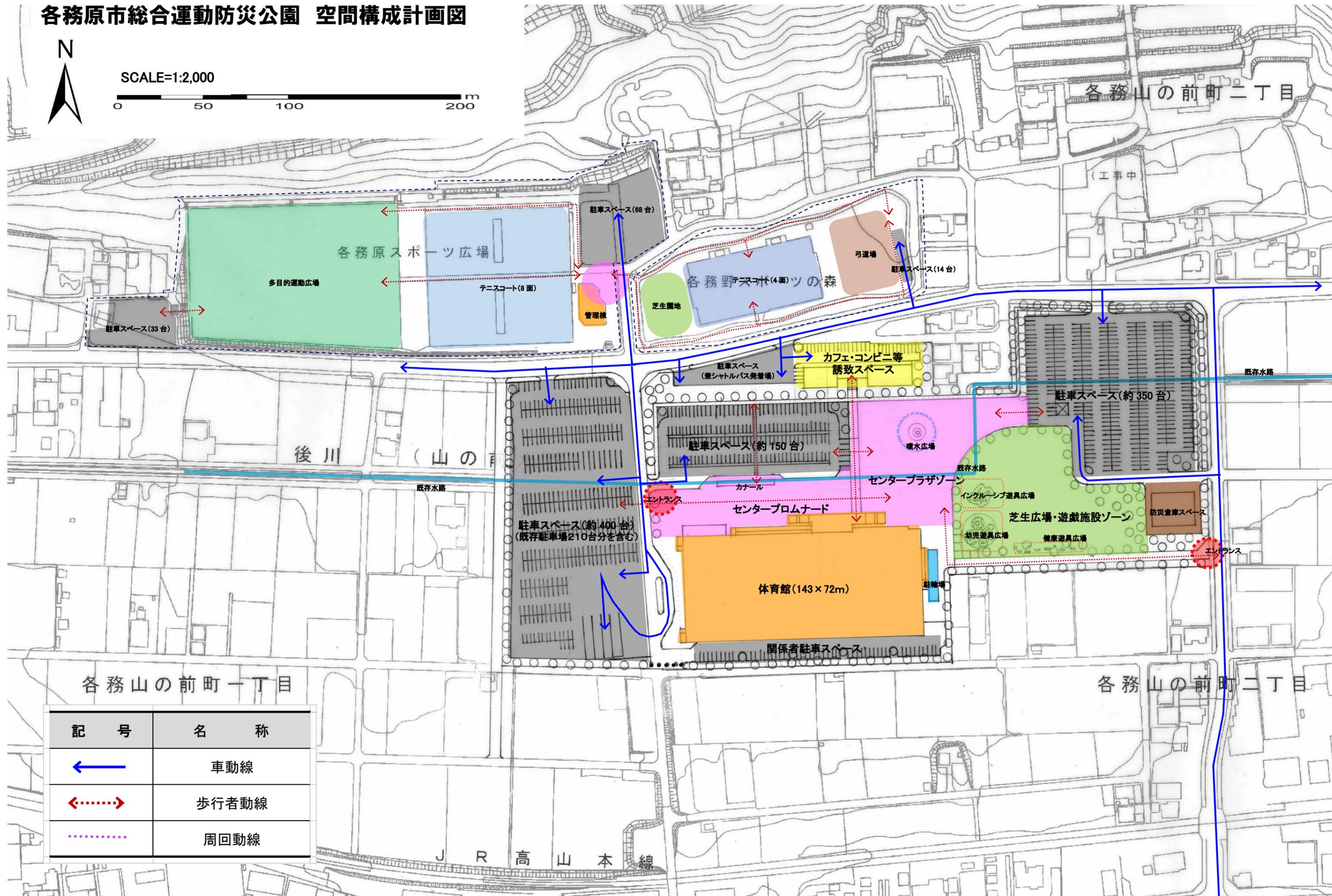
4) 駐車場

- 敷地西側に 400 台程度の駐車スペースを確保し、中型バスや大型バスも収容が可能なものとし、また、北側には 150 台程度の駐車スペースとともに思いやり駐車スペースを確保します。
- 東側南北道路から導入する駐車スペースに 350 台程度を確保します。
- これにより、駐車台数 900 台程度が確保できます。(既存駐車場が 210 台あるため新規計画台数は 700 台程度)、北側既存エリアの駐車場と合わせ、公園区域全体で 1,000 台程度が確保できます。
- 体育館南側には、管理運営者やイベント時等の関係者用駐車スペースとして、別途駐車場を確保します。
- 駐車場は、災害時やイベント時に必要な大空間を確保するために、基本的に車輪止めは設置しないこととし、周囲には植栽帯を設けます。
- 西側駐車場や東側駐車場の一部は臨時駐車場とし、利用が少ない日や時間帯については、バスケットボールの 3X3 コートやスケートパーク等として有効活用することを検討します。

各務原市総合運動防災公園 空間構成計画図



SCALE=1:2,000



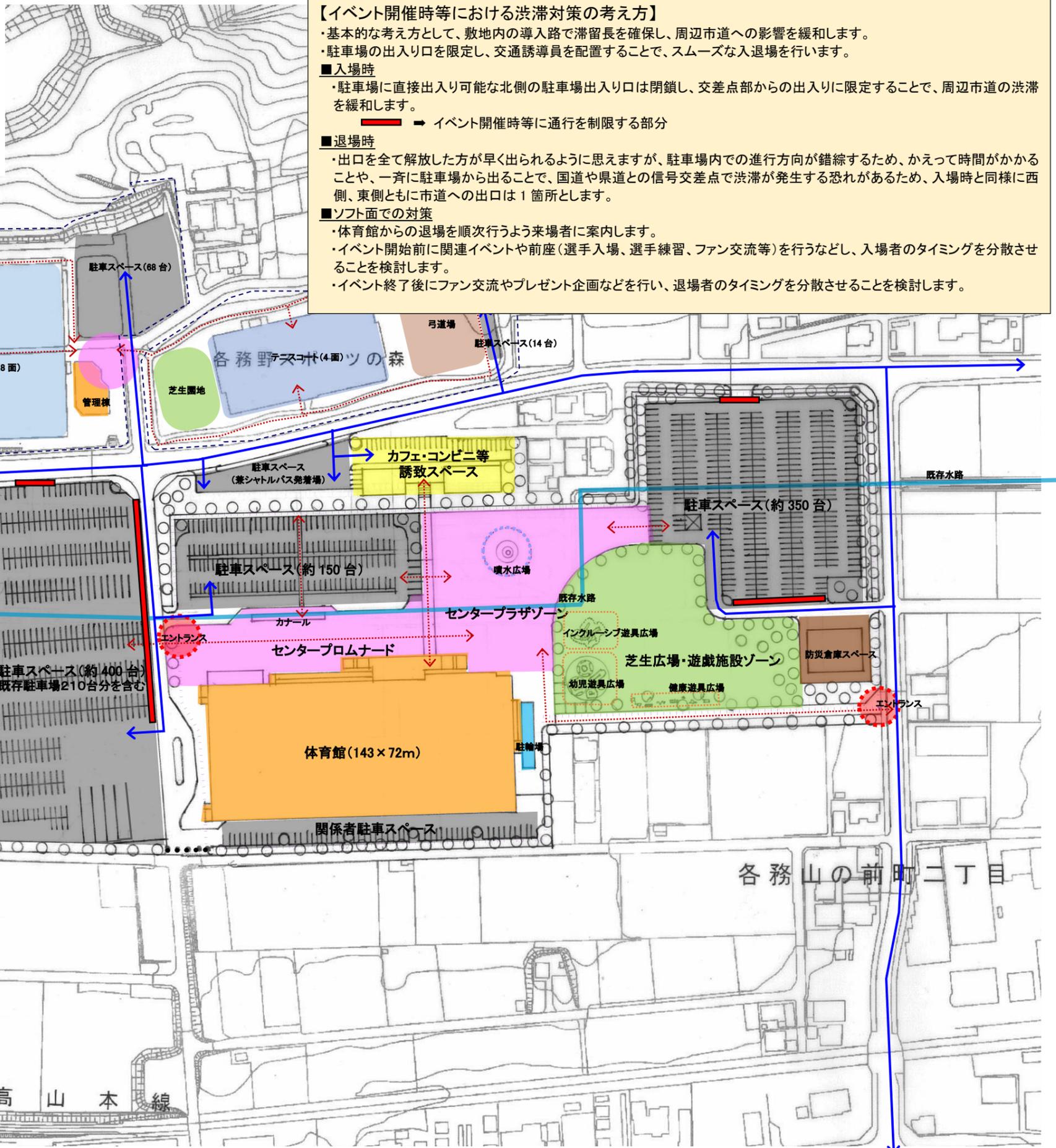
| 記号 | 名称 |
|----|-------|
| | 車動線 |
| | 歩行者動線 |
| | 周回動線 |

各務原市総合運動防災公園 空間構成計画図

【イベント開催時等の渋滞対策】



SCALE=1:2,000



【イベント開催時等における渋滞対策の考え方】

- ・基本的な考え方として、敷地内の導入路で滞留長を確保し、周辺市道への影響を緩和します。
- ・駐車場の出入り口を限定し、交通誘導員を配置することで、スムーズな入退場を行います。

■入場時

- ・駐車場に直接出入り可能な北側の駐車場出入り口は閉鎖し、交差点部からの出入りに限定することで、周辺市道の渋滞を緩和します。

→ イベント開催時等に通行を制限する部分

■退場時

- ・出口を全て解放した方が早く出られるように思いますが、駐車場内での進行方向が錯綜するため、かえって時間がかかることや、一斉に駐車場から出ること、国道や県道との信号交差点で渋滞が発生する恐れがあるため、入場時と同様に西側、東側ともに市道への出口は1箇所とします。

■ソフト面での対策

- ・体育館からの退場を順次行うよう来場者に案内します。
- ・イベント開始前に関連イベントや前座(選手入場、選手練習、ファン交流等)を行うなどし、入場者のタイミングを分散させることを検討します。
- ・イベント終了後にファン交流やプレゼント企画などを行い、退場者のタイミングを分散させることを検討します。

各務山の前町一丁目

各務山の前町二丁目

| 記号 | 名称 |
|---------|-------|
| ← | 車動線 |
| ←.....→ | 歩行者動線 |
| | 周回動線 |

J R 高山本線

各務原市総合運動防災公園 計画平面図



SCALE=1:2,000



カフェ



(利用が少ない際に駐車場の一部を活用) 3X3コート



センタープラザ



公園周回園路



シェルター



幼児遊戯広場



(c)公益財団法人東京都公園協会
インクルーシブ遊戯広場



健康遊具広場



カナール



ドライ噴水広場



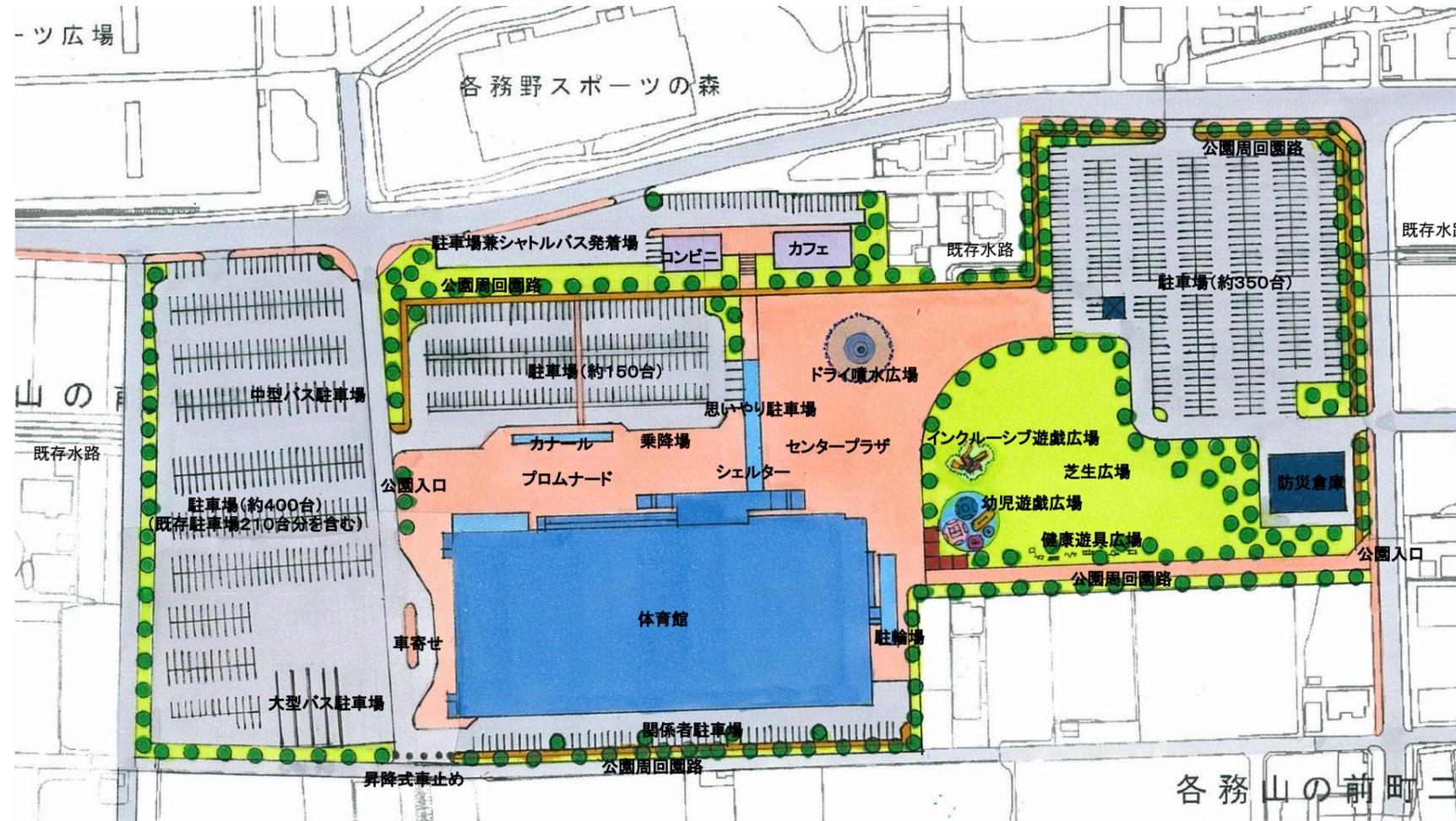
駐車場



(利用が少ない際に駐車場の一部を活用) スケートパーク



芝生広場



※整備イメージは、視察事例写真等による整備の方向性を示すものであり、必ずしもこのように整備するというものではありません。